

**令和2年度（上期）  
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 社会教育 課

1. 基本情報

1301

施設名	伊丹市立生涯学習センター（ラストホール）		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進し、あわせて市民の教養、文化の発展と健康の増進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	利用者人数 (単位： 人 )	
	指標の意味	講座・イベント+施設+フィットネスの利用者のべ人数	
	今年度の目標値	60,000	上期の実績値 3,920

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H28	H29	H30	R元	R2 (上期)	R2 (通期)
	来館者数 (人)		337,586	360,152	356,674	348,925	323,606	11,246
貸し室稼働率 (%)		39	43	42	41	40	23	
講座開催回数(回)		630	998	1,023	1,019	969	95	
講座参加者数(人)		18,879	43,623	45,435	46,119	41,762	2,778	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		区分	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020) 計画	令和2年度 (2020) 実績 (上期)
収入		使用料収入	50,937	44,073	12,734	△ 471
		事業収入	15,372	14,712	7,701	352
		その他	156	114	4,000	20
		指定管理委託料	123,839	123,389	82,469	52,837
		①合計	190,304	182,288	106,904	52,738
支出	維持管理	光熱水費	22,976	23,744	13,684	5,444
		清掃等委託料	25,766	27,177	8,642	6,319
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	6,843	5,650	1,000	435
	運営	人件費	42,923	43,031	40,742	19,315
		事業等経費	84,925	80,357	38,895	14,245
		その他	4,880	4,165	3,941	1,344
		指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	188,313	184,124	106,904	47,102	
純収支 (①-②)			1,991	△ 1,836	0	5,636

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>		H27	H28	H29	H30	R元	R2 (上期)
	市の収入		267	394	228	154	1,813
(内、使用料収入)		0	0	0	0	0	0
市の支出		269,744	125,707	129,013	126,696	147,197	378,309
(内、指定管理委託料)		125,516	123,624	124,326	123,839	123,389	52,837
実質経費 (歳出-歳入)		269,477	125,313	128,785	126,542	145,384	378,307

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

#### 4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	B	老朽化した施設・設備の維持管理について、利用者の利便性と費用対効果のバランスを配慮しながら、臨機応変に対応している。	B	協定書・仕様書に基づき適切に管理されている。新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休館及び再開についても臨機応変に対応している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	施設運営に関して、必要な経験と実績を積んだスタッフを配置。他館との連携を通じたスタッフ交流も行っている。	C	必要な人員が概ね配置されており、施設間の連携を図るなど資質向上にも取り組んでいる。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	連絡体制を配備。年に2回の消防訓練を行っている。	B	訓練も適正に行い、連絡体制も整っている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、工事休館中においても、市民の学習意欲を損なわず継続できるよう、できる限りの事業を実施している。	B	利用者に不安を与えないよう新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行いながら、運営がなされていた。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	コロナの影響により事業中止や定員半減など計画変更を余儀なくされた。	B	コロナ禍という特殊な状況の中で可能な取り組みを積極的に実施している。
		施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書や個人情報について、適切かつ厳重な管理を行なっている。	B	法令等を遵守した個人情報の取扱いがなされている。今後も利用者情報などの個人情報の取扱いに細心の注意を払ってほしい。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	収入確保と支出抑制に努め、収支全体の中で対応しているが、コロナの影響による事業中止と定員半減等で、減収は免れない。	B	新型コロナの影響はあるものの、適切に対応し適正に運営がなされている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

<b>施設所管課総評</b>	新型コロナウイルス感染防止対策のため、臨時休館をはじめ特殊な状況下であったが、協定書・仕様書に基づき概ね適正な管理運営を行った。引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、効果的な事業展開を期待したい。
<b>総合評価</b>	B

「総合評価」欄の記号の意味

「A」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

#### ☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和2年 月 日～令和2年 月 日

実施の有無	主な回答	主な対応
無し	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からアンケート実施を見合わせました。	
回答者数		—
—		

#### 5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置